

学位論文

修士論文

1985年3月 青年期の自我理想とその形成過程 立教大学大学院博士前期課程

博士論文

2004年5月 現代の青年の対人認知と自己概念の関係に関する考察:とくに友人認知との関連において [博士(心理学), 学習院大学]

学術論文

(単著および筆頭共著)

1984年3月 単著 青年期の自己概念—依存対象との関連において— 立教大学心理学科研究年報, 第27号, 51-62. 立教大学文学部心理学研究室

1987年6月 単著 青年期男子の自我理想とその形成過程 教育心理学研究, 第35巻(2), 116-121. 日本教育心理学会

1987年6月 (共著:岡田努・斎藤憲司) エンカウンターグループに関する一考察 文教大学保健センター年報, 第7号, 20-26. 文教大学保健センター

1988年6月 単著 学生相談からみた現代青年の特徴 文教大学保健センター年報, 第8号, 24-26. 文教大学保健センター

1989年6月 単著 学生相談からみた現代青年の特徴 第2報 文教大学保健センター年報, 第9号, 18-21. 文教大学保健センター

1990年2月 (共著:岡田努・永井徹) 青年期の自己評価と対人恐怖的心性との関連 心理学研究, 第60巻(6), 386-389. 日本心理学会

1991年3月 単著 現代青年の人格発達と対人関係に関する探索的研究 東京都立大学心理学研究, 第1巻, 11-18. 東京都立大学心理学研究室

1991年10月 (共著:岡田努・永井徹) 文章完成法による青年期心性についての考察 新潟大学教育学部紀要, 第33巻(1), 33-40. 新潟大学教育学部

1992年6月 単著 コンピュータにおけるコミュニケーション 心理臨床, 第5巻(2), 95-99. 星和書店

1993年10月 単著 現代青年の友人関係に関する考察 青年心理学研究, 第5号, 43-55. 日本青年心理学会

1993年11月 単著 自我同一性早期完了地位についての一考察 新潟大学教育学部紀要, 第35巻(1), 57-68. 新潟大学教育学部

1993年11月 単著 現代の大学生における「内省および友人関係のあり方」と「対人恐怖的心性」との関係 発達心理学研究, 第4巻(2), 162-170. 日本発達心理学会

1995年3月 単著 自我同一性早期完了地位についての一考察(2) 新潟大学教育学部紀要, 第36巻(2), 219-228. 新潟大学教育学部

1995年12月 単著 現代大学生の友人関係と自己像・友人像に関する考察 教育心理学研究, 第43巻(4), 354-363. 日本教育心理学会

1996年11月 単著 トピックス「インターネットについて」 心理臨床第9巻(3), 201-203. 星和書店

1997年3月 単著 平石・杉村論文「中学生の役割緊張に関する研究-コンピテンスおよびストレス反応との関係から-」に対する意見論文 青年心理学研究, 第9号, 66-68.

1999年3月 単著 現代青年に特有な友人関係の取り方と自己愛傾向の関連について 立教大学教職研究, 第9号, 29-39. 立教大学教職課程研究室

1999年4月 単著 石津論文(石津孝治「箱庭を併用した遊戯療法における攻撃性の変容」)へのコメント 立教大学臨床心理研究 第2号, 39-40. 立教大学心理教育相談所

1999年12月 単著 現代大学生の認知された友人関係と自己意識の関連について 教育心理学研究, 第47巻(4), 432-439. 日本教育心理学会

2000年3月 単著 現代青年の自己概念の発達に関する試論 立教大学教職研究, 第10号, 31-40. 立教大学教職課程研究室

2002年3月 単著 友人関係の現代的特徴と適応感及び自己像・友人像の関連についての発達的研究 金沢大学文学部論集(行動科学・哲学篇), 第22号, 1-38. 金沢大学文学部

2002年3月 単著 青年期・成人期・老年期の発達研究の動向について 教育心理学年報, 第41巻, 63-72. 日本教育心理学会

2002年3月 単著 現代大学生の「ふれ合い恐怖的心性」と友人関係の関連についての考察 性格心理学研究, 第10巻(2), 69-84.

2005年3月 単著 現代青年の友人関係・ライフイベントと自己の発達に関する研究 金沢大学文学部論集(行動科学・哲学篇), 第25号, 15-32.

2005年3月 単著 自己の発達と共感性の関係についての探索的研究 自己心理学 第2巻, 14-25. 自己心理学研究会

2007年1月 単著 大学生における友人関係の類型と、適応及び自己の諸側面の発達に関連について パーソナリティ研究, 第15巻(2), 135-148.

2007年2月 単著 白石尚大・岡本祐子 論文「大学生の意欲低下傾向とアイデンティティ発達, 家族機能の関連性」についての意見論文 青年心理学研究, 第18巻, 63-66.

2007年3月 単著 現代青年の友人関係と自己像・親友像についての発達的研究 金沢大学文学部論集(行動科学・哲学篇), 第27号, 17-34.

2011年9月 単著 現代青年の友人関係と自尊感情の関連について パーソナリティ研究, 第20巻(1), 11-20.

2012年3月 単著 現代青年の友人関係に関する新たな尺度の作成: 傷つけ合うことを回避する傾向を中心として 金沢大学人間科学系研究紀要 第04号 19-34.
(電子版で発行) <http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/30410>

2014年2月 単著 青年期の友人関係における「共有」の意味について-池田幸恭・葉山大地・高坂安雄・佐藤有耕 『大学生の友人関係における親密さと共有意識の関係』への意見論文- 青年心理学研究 25, 155-158

2016.11 共著(岡田努・榎本博明・下村英雄・山浦一保) 青年期の対人関係および自己のあり方と青年の就労意識の関連に関する構造の検討 心理学の諸領域, 4, 41-52.

2016.12 単著 青年期の友人関係における現代性とは何か 発達心理学研究, 27, 346-356

筆頭以外

1988年11月 (共著: 詫摩武俊・菅原健介・戸田弘二・岡田努・関根剛) 「好青年」についての発達的研究(第1報)-優等生役割を持つ者の非行少年観について- 安田生命社会事業団研究助成論文集, 第23号, 90-95. 安田生命社会事業団

1989年11月 (共著:詫摩武俊・菅原健介・戸田弘二・岡田努・関根剛) 「好青年」についての発達心理学的研究(第2報) -優等生役割を持つ中学生の問題行動に対する態度について- 安田生命社会事業団研究助成論文集, 第24号, 69-72. 安田生命社会事業団

1991年10月 (共著:詫摩武俊・天羽幸子・佐藤達哉・岡田 努・平野直巳) 青年期の双生児の人間関係に関する研究(第1報) 7安田生命社会事業団研究助成論文集, 第26号, 49-58. 安田生命社会事業団

2008年3月 (共著:三保紀裕・岡田努・轟亮) 金沢大学文学部学生における大学進学動機と進路意識 人間社会環境研究 15, 19-29. 金沢大学大学院人間社会環境研究科

2008年6月 (共著 中野光子・今井壽正・岡田努) Parkinson病の認知機能障害:Wisconsin Card Sorting TestとWAISによる成績の比較検討 神経心理学 24, 161-168 . 日本神経心理学会

2016.6(共著 Akira Kanai, Sachiko Kiyama, Hiroshi Goto, Hidehito Tomita, Ayuko Tanaka, Mitsunobu Kunimi, Tsutomu Okada and Toshiharu Nakai) Use of the sit-to-stand task to evaluate motor function of older adults using t elemetry. BMC Geriatrics, 16.

著書

(単著)

- ・2007年10月 現代青年の心理学：若者の心の虚像と実像 世界思想社
- ・2010年2月 青年期の友人関係と自己：現代青年の友人認知と自己の発達 世界思想社

(共著・分担執筆)

1989年12月 組織活性化のための測定診断(第3章内 「CPI」 pp. 71-73, 「MMPI」 pp. 91-94, 「P-Fスタディ」 pp. 158-160, 「MAS」 pp. 168-171担当) (東清和監修・著 井口哲夫・大草正信・外島裕・松本純・山崎友丈・吉田敦・渡辺三枝子・岡田努・金森敦 著) 中央法規出版

1992年3月 対人心理学の最前線(分担執筆 担当 第2章「友人とかかわる」 pp. 22-26) (松井豊 編・飛田操・岡田努・下斗米淳・戸田弘二・榎本博明・菅原健介・堀正・篠山郁生・上瀬由美子・山内隆久・西田公昭・竹村和久・藤森立男・藤森和美・今井芳昭・上野行良・古澤照幸・戸田まり・井上果子・関根剛 著) サイエンス社

1992年5月 出会いと関係の心理学(分担執筆 担当 「甘え」 pp. 39-43) (詫摩武俊(編) 渋谷昌三・永井徹・次郎丸睦子・佐藤達哉・榎本博明・戸田弘二・尾見康博・岡田努・古川真弓・須田治・菅原ますみ・戸田まり・岩立志津夫・平野直巳・小野寺敦子・丁謙・田中千穂子・青木紀久代・菅原健介・池森るみ子・清水弘司・飯野晴美・小出れい子・細井啓子・田中信市・内藤美加・関根剛・中村真・山本真理子・鈴木圭子・川村素子・井上果子・小沢理恵子・塩崎万里・佐山薫子・古川裕子・河野通子・加藤美智子・川幡政道・宗像剛・宮前理・今井一枝・神村富美子・林洋一著) 新曜社

1994年5月 こころの科学(分担執筆 担当 「IV適応の科学」 pp. 173-204) (塚本伸一(編著) 川瀬隆千・塚本尚子・山岡重行・池田善英・神田信彦・岡田努著) ソフィア

1997年5月 人間関係学トピックス100(分担執筆 担当 第6章 「人間関係の発達と病理」 pp. 154-181) (斎藤勇(編) 片山美由紀・笹山郁生・上野行良・古澤照幸・青木智子・岡田努・川野健治・斎藤勇著) 誠信書房

1997年10月 発達を考えた児童理解・生徒指導(分担執筆 担当 第9章「いじめへの児童理解・生徒指導からの理論」 pp. 153-176) (川島一夫(編著) 丹羽洋子・本間恵美子・勝倉孝治・松田君彦・瀧野揚三・神村栄一・小林 真・岡田 努・塚野州一 著) 福村出版

2000年6月 子どもの発達と学校 (分担執筆 担当 第7章 「青年期前期」 pp. 77-90) (宮川充司・大野久・大野木裕明(編) 宮川充司・大野久・大野木裕明・水野里恵・中西由里・林昭志・塚本伸一・小林真・岡田努・前田基成・遠山孝司・太田伸幸・塘利枝子・崎浜秀行・小田侯朗 著) ナカニシヤ出版

2001年4月 図で読む心理学 (発達) (分担執筆 担当 第12章 「その人らしさの発達: 人格と自我の発達」 pp. 142-149) (川島一夫(編著) 川島一夫, 毛塚恵美子, 橘川真彦, 首藤敏元, 前田明, 中野隆司, 真島真里, 中山勘次郎, 簗毛良助, 鈴木情一, 渡辺弥生, 岡田努, 伊藤裕子, 高尾正, 小宮光弥 著) 福村出版

2002年8月 シリーズ「臨床発達心理学」第3巻 社会・情動発達とその支援 (分担執筆 担当 7章2節 「同一性の危機と関係の病理」 pp. 148-152) (須田治・別府哲(編著) 須田治・陳省仁・遠藤利彦・上村佳世子・荘巖舜哉・麻生武・川上清文・鯨岡峻・河合優年・繁多進・山本登志哉・中野茂・黛雅子・別府哲・大野久・岡田努・佐竹真次・松村京子・高橋和子・近藤文里・近藤清美・西澤哲・戸田有一 著) ミネルヴァ書房

2002年9月 認知心理学者 新しい学びを語る (分担執筆 担当 「<自分さがし>と<自分づくり>」 pp. 124-133) (森敏昭(編著) 森敏昭・鹿毛雅治・奈須正裕・秋田喜代美・深谷優子・藤村宣之・上淵寿・青木多寿子・小松孝至・戸田まり・岡田努・伊東美奈子・酒井千春・藤江康彦・伊東亜矢子・高木光太郎・吉岡敦子・深田昭三・向後千春・坂元章 著) 北大路書房

2004年3月 放送大学 教材新訂人格心理学 (分担執筆 担当 [5] 「親子関係とパーソナリティの発達」 pp. 72-85, [6] 「友人関係とパーソナリティの発達」 pp. 86-101) (榎本博明・桑原知子(編著), 若林明雄・岡田努・堀正・滝口俊子・丸田俊彦・榎本博明・桑原知子 著) 放送大学教育振興会

2004年9月 さまよえる青少年の心—アイデンティティの病理— (分担執筆 担当 第2章5節 「親密性の病理」 pp. 60-67) (谷冬彦・宮下一博(編著) 谷冬彦・西平直・佐方哲彦・宮下一博・相澤直樹・溝上慎一・岡田努・森岡正芳・佐藤枝里・石垣琢磨・永井徹・近藤隆夫・鉄島清毅・井上果子・北山修・小沢一仁・高田晃治・茂垣まどか・加藤弘通・溝口剛・佐藤浩一・渡辺亘・白井利明・高澤健司・下坂剛・三好昭子・宇都宮博・林恵・山田裕子・宮坂振也・山口昌澄・大野久 著) 北大路書房

2005年1月 現代心理学への招待 (分担執筆 担当 「性格の理解」「性格の測定」 pp. 116-129, 「青年期の発達」 pp. 159-171. 担当) (塚本伸一・堀耕治(編著) 塚本伸一・堀耕二・岡田努・小松英海・菅沼真樹・東福寺一郎・土肥伊都子・友田貴子・吉野俊彦 著) 樹村房

2006年1月 よくわかる青年心理学 (分担執筆 担当 第V章 5 「青年期の友人関係の特徴」, 6 「現代青年の友人関係は変わったか」, 7 「自己開示」, 8 「孤独感」 pp. 84-91) (白井利明(編) 白井敏明・岡田努・柏尾真津子・河野莊子・小林亮・谷冬彦・平石賢二・山口昌澄・山野晃・若松養亮 著) ミネルヴァ書房

2008年10月 自己心理学 1 自己心理学の研究の歴史と方法 (分担執筆 担当 「自己心理学における量的研究と質的研究の現状」 pp. 49-53) (榎本博明・岡田努(編) 榎本博明・岡田努・下斗米淳(監修) 藤永保・榎本博明・サトウタツヤ・梶原佳子・岡田努・古澤照幸・杉森伸吉・野口裕之・大野久・山口智子・浅野智彦・野村春夫 著) 金子書房

2008年12月 自己心理学 5 パーソナリティ心理学へのアプローチ (分担執筆 担当 「パーソナリティ心理学における自己心理学の展開」 pp. 1-3, 「ふれ合い恐怖と青年期の友人関係」 pp. 112-129) (岡田努・榎本博明(編) 榎本博明・岡田努・下斗米淳(監修) 岡田努・谷冬彦・横井優子・川本恵津子・山口昌澄・榎本博明・並川努・安藤清志・小塩真司・塘利枝子・堀正・谷伊織・大西将史・丹野万樹・伊藤真弓・脇田貴文・唐沢春明・稲垣実果・小口直子・福井斉・前川浩子 著) 金子書房

2010年10月 朝倉実践心理学講座第8巻 対人関係と恋愛・友情の心理学（分担執筆 担当 第7章「友人関係は希薄になったか」pp. 90-104）（海部博之（監修）松井豊（編）相羽美幸・新井洋輔・岡田努・岡田昌毅・加藤司・金政祐司・久村恵子・島倉大輔・立脇洋介・丹野宏昭・橋本剛・堀越弘・松井豊・若尾良徳・渡部麻美 著）朝倉書店

2010年11月 社会化の心理学／ハンドブック：人間形成への多様な接近（分担執筆 担当 第12章「友人関係の変質」pp. 167-182）（菊池章夫・二宮克美・堀毛一也・斎藤耕二（編著）安藤寿康・五十嵐敦・岩立京子・氏家達夫・大江篤志・岡田努・岡本祐子・小川晃子・金政祐司・上瀬由美子・菊池章夫・河野義章・小林春美・斎藤耕二・作道信介・首藤敏元・鈴木敦子・鈴木佳苗・鈴木光太郎・高田利武・田中共子・西脇良・二宮克美・根ヶ山光一・久崎孝浩・飛田操・平林秀美・細江達郎・堀毛一也 著）川島書店

2011年9月 自己愛の心理学——概念・測定・パーソナリティ・対人関係（分担執筆 担当 第12章「自己愛と現代青年の友人関係」pp. 184-200 小塩真司・川崎直樹 編著，小塩真司・川崎直樹・上地雄一郎・中山留美子・清水健司・市村美帆・岡田涼・寺島瞳・阿部晋吾・岡田努 著）金子書房

2017年3月 若者たちの食卓—自己，家族，格差，そして社会（分担執筆 担当 第10章「青年期の対人関係」pp. 146-156 外山紀子・長谷川智子・佐藤康一郎編 外山紀子・長谷川智子・佐藤康一郎・小塩真司・岡田努・橋本健二・小林盾・今田純雄著）ナカニシヤ出版

2018年3月 ノードとしての青年期（分担執筆 担当 F11青年期における友人関係の特徴 F2青年期を通じた友人関係の変化 高坂康雅 編著）ナカニシヤ出版

辞典・事典

2000年11月 青年心理学事典（「対人恐怖的心性」179, 「ギャング集団」257, 「群れ志向」278, 「やさしさ志向」285担当）久世敏雄・斎藤耕二監修 福村出版

2006年6月 心理学総合事典（3.2 調査法 pp. 36-42 担当）編集主査 海保博之，編集副査 楠見孝 編集委員 佐藤達哉 岡市広成 大平英樹 大淵憲一 小川俊樹 朝倉書店

2009年6月 社会心理学事典（「親密な対人関係」pp. 186-187担当）日本社会心理学会編 編集委員長 大坊郁夫 丸善

2011年11月 発達科学ハンドブック 第2巻 研究法と尺度（第3章 「質問紙調査法の基礎」pp. 40-47担当）日本発達心理学会（編）岩立志津夫・西野泰広（第2巻 編）新曜社

2013年3月 パーソナリティ心理学ハンドブック（第5節 「友人関係の個人差」 pp. 567-572 担当）日本パーソナリティ心理学会（企画）二宮克美・浮谷秀一・堀毛一也・安藤寿康・藤田主一・小塩真司・渡邊芳之（編）福村出版

2013年6月 発達心理学事典（「対人関係の希薄化」 pp. 254-255担当）日本発達心理学会（編）編集委員長 氏家達夫，岩立志津夫・尾見康博・子安増生・佐藤有耕・杉村和美・外山紀子・長崎勤・根ヶ山光一・能智正博・南徹弘・村井潤一郎（編）丸善出版

2013年12月 最新 心理学事典 平凡社(p. 75「家庭環境」pp. 567-568「仲間関係」担当)

2014年1月 新・青年心理学ハンドブック（第24章「友人関係」 pp. 315-325 担当）日本青年心理学会（編）福村出版

翻訳

2005年1月 J. クロガー著 榎本博明（編訳） アイデンティティの発達 青年期

から成人期 (第5章 青年期におけるアイデンティティ問題の特異な例 pp. 95-112 Selected identity issues of adolescence 担当) 榎本博明編訳 北大路書房 (Kroger, J. 2000 Identity Development: Adolescence Through Adulthood. Sage Publications, . thousand Oaks, California 297p)

2014年3月 子安増生・二宮克美 (監訳) 青年期百科事典編集委員会(編) 青年期発達百科事典 (第2巻 人間・社会・文化「仲間関係」担当 pp. 327-333) 丸善出版 (Dijksra, J. K., & Veenstra, R. (2011). Peer relations. In Encyclopedia of Adolescence Volume 2 London : Elsevier pp. 255-259.)

監修・編集

榎本博明・岡田努・下斗米淳 (監修) 自己心理学 (全6巻) 金子書房

2008年2月 第6巻 下斗米淳 (編) 「社会心理学へのアプローチ」

2008年7月 第4巻 仲真紀子 (編) 「認知心理学へのアプローチ」

2008年9月 第2巻 榎本博明 (編) 「生涯発達心理学へのアプローチ」

2008年10月 第1巻 榎本博明・岡田努 (編) 「自己心理学の研究の歴史と方法」

2008年12月 第5巻 岡田努・榎本博明 (編) 「パーソナリティ心理学へのアプローチ」

2009年1月 第3巻 塩崎万里・岡田努 (編) 「健康心理学・臨床心理学へのアプローチ」

」

報告書等

1995年3月 子供の燃えつき状態について 子供の遊びに関する実態調査報告書 44-45 (新潟市教育委員会)

2000年12月 青少年の逸脱行動と欲求不満耐性、価値観との関連について 総務庁青少年対策本部 「低年齢少年の価値観等に関する調査」 232-247

2005年 3月 平成13年度～平成16年度 科学研究費補助金 基盤(C)(2) 一般 研究成果報告書 青年期危機が人格的発達に及ぼす効果に関する研究 (課題番号 13610123)

2007年3月 個別の対人関係場面での葛藤解決の実際 青少年に対する意識調査の結果を通して グローバル化時代における市民性の教育 論文集 (1) 123-133 日本学術振興会 人文・社会科学振興プロジェクト研究

一般向け啓発誌等

1995年10月 単著 若者の対人恐怖症 青少年研究 第42巻10号 12-17 青少年問題研究会

1997年3月 座談会 インターネットが意識を変える (黒木賢一・吉村公雄・山内慶太・岡田努) こころの臨床 a・la・carte 16(1), 5-13 星和書店

1998年5月 現代のエスプリ370:特集インターネット社会 (分担執筆 担当 「はまるーインターネット中毒」 pp. 167-176) (川浦康至(編) 吉田敦也・向後千春・宮澤賀津雄・黒岩雅彦・森田正隆・干川剛史・三上俊治・野島久雄・岡本能里子・柴内康文・北山聡・川浦康至・岡田努・豊島昇・小坂守孝 著) 至文堂

2011年1月 現代のエスプリ522 自己愛の時代:現代社会の病理の解明に向けて (分担執筆 担当「現代青年は自己愛的なのか?—友だちづきあいの特徴から見えてくるもの」 pp. 29-40) (山崎久美子(編)) ぎょうせい

2014年1月 単著 現代の青年の特質を高校生に授業する 心理学ワールド, 64号, 30-31 日本心理学会.

2014年8月 単著 ”自分”のとらえかた(自己概念)とレジリエンス 児童心理 第68巻(11), 917-922 金子書房.

2015年5月20日 単著 現代青年のトモダチ事情 大学時報64, 34-37 日本私立大学連盟

2017年11月 君の悩みに答えよう:青年心理学者と考える10代・20代のための生きるヒント (分担執筆 担当 「ノリがよくてウケることが言えなきゃダメですか?」 pp. 78-79, 「昔や今より友人関係が濃密だったのですか?」 pp. 82-83) 大野久・小塩真司・佐藤有耕・白井利明・平石賢二・溝上慎一・三好昭子・若松養亮 (編) 福村出版

2017年11月 書評 山岸明子著「つらさをのりこえて生きる—伝記・文学作品から人生を読む」 p. 127 児童心理71(16) 金子書房

学会発表

1984年10月 思春期の自己概念—中学生期を中心として— 日本心理学会第48回大会発表

論文集, 623.

1986年10月 大学病院におけるデイケアの試み第5報—脱落した症例の検討— 共著:石井雄吉・岡田努 統計処理担当) 日本心理学会第50回大会発表論文集, 730

1987年10月 中学生期女子における自己概念について 日本教育心理学会第29回総会発表論文集, 518.

1987年10月 対人恐怖的心性の構造に関する研究 (共著:永井徹・岡田努 統計処理担当) 日本心理学会第52回大会発表論文集, 534.

1988年10月 女子青年における性別受容と対人恐怖的心性の関係について 日本心理学会第52回大会発表論文集, 120.

1989年11月 現代青年における自己及び対人関係に関する探索的研究 日本心理学会第53回大会発表論文集, 23.

1989年11月 青年期における対人恐怖的心性に関する研究 (共著:永井徹・岡田努 統計処理担当) 日本心理学会第53回大会発表論文集, 19.

1990年6月 現代青年における自己及び対人関係に関する探索的研究 (第2報) 日本心理学会第54回大会発表論文集, 145.

1991年9月 Cognitive impairments in Parkinson's disease (共著:H. Imai, M. Nakano, Y. Mizuno, T. Okada 統計処理担当) 8th Asian & Oceanian Congress of Neurology.

1991年10月 現代青年における対人関係・内省と欲求不満耐性の関連について 日本心理学会第55回大会発表論文集, 573.

1992年5月 パーキンソン病の認知障害 (共著:中野光子・今井壽正・岡田努 統計処理担当) 第33回日本神経学会総会.

1992年9月 現代青年の友人関係に関する一考察 日本心理学会第56回大会発表論文集, 159.

1993年6月 “L -dopa無効の純粹アキネジア” の認知障害:パーキンソン病との比較 (共著:中野光子・今井壽正・岡田努 統計処理担当) 第34回日本神経学会総会.

1993年9月 現代青年の自己意識と友人関係に関する考察 日本心理学会第57回大会発表論文集, 32.

1993年10月 青年期の自我同一性早期完了者の特徴について 日本教育心理学会第35回総会発表論文集, 206.

1993年10月 水槽表示を用いたベイズ定理の学習用および教材作成用プログラム (共著:南風原朝和・岡田努 プログラム設計担当) 日本教育心理学会第35回総会発表論文集, 49

1994年10月 現代青年の認知された友人像と友人関係 日本心理学会第58回大会発表論文集, 43.

1995年9月 大学生における「ふれあい恐怖的心性」に関する予備的考察 日本教育心理学会第37回総会発表論文集, 450.

1996年9月 現代大学生の友人関係と「ふれあい恐怖」的傾向の関連について 日本心理学会第60回大会発表論文集, 294.

1996年11月 現代青年は本当に変わってしまったのか—友人関係を中心として— 日本青年心理学会第4回大会発表論文集, 49-50.

1997年9月 現代青年の友人関係と自己像に関する発達的研究 日本心理学会第61回大会発表論文集, 229.

1997年11月 「青年性」の発達に関する試論 日本青年心理学会第5回大会発表論文集13-14.

1999年3月 現代青年の自己概念の発達に関する試論 日本発達心理学会第10回大会発表論文集, 313.

1999年9月 現代青年の友人関係と人格障害傾向の関連 日本心理学会第63回大会発表論文集, 926.

2000年11月 現代青年の友人関係と適応の関連について:中学生期を中心として 日本心理学会第64回大会発表論文集, 61.

2001年11月 現代青年の自己像・親友像の関連について:高校・大学生について 日本心理学会第65回大会発表論文集, 958.

2002年9月 現代青年の友人関係の構造についての検討 日本心理学会第66回大会発表論文集, 31.

2002年10月 青年期における自己の諸側面に関する一考察:共感性との関連において 日本教育心理学会第44回総会発表論文集, 150.

2003年9月 青年期における自己の発達と内省傾向の関連についての試論 日本心理学会第67回大会発表論文集, 84.

2004年9月 青年期の自己の発達に関わる要因について 日本心理学会第68回大会発表論文集, 33.

- 2005年9月 青年期の自己の発達に関わる要因について(2):大学生の短期縦断調査の結果から 日本心理学会第69回大会発表論文集, 34.
- 2005年9月 青年期の自己の発達を規定する要因について 日本教育心理学会第47回総会論文集, 246.
- 2006年3月 「青年は成人世代からどのように見られていると認知しているのか:予備的考察」日本発達心理学会第17回大会発表論文集, 302.
- 2006年11月 小学校高学年から高校生にかけての友人関係と自己の発達 日本心理学会第70回大会発表論文集, 63.
- 2008年9月 現代青年の友人関係パターンと自尊感情 日本心理学会第72回大会発表論文集, 40.
- 2008年11月 現代青年の友人関係に関する試論:傷つけ合うことを避ける傾向について 日本パーソナリティ心理学会第17回大会発表論文集, 208-209.
- 2009年8月 現代青年の友人関係と開示対象の使い分けについて 日本心理学会第73回大会発表論文集, 24.
- 2009年9月 現代青年の傷つけ合うことを回避する傾向についての研究 日本教育心理学会第51回総会発表論文集, 27.
- 2011年7月 現代青年の友人関係とふれ合い恐怖的心性 再考 日本教育心理学会第53回総会発表論文集, 222.
- 2012年11月 現代青年の友人関係のあり方と「ランチメイト症候群」傾向の関連 日本社会心理学会第53回大会発表論文集, 253.
- 2012年11月 青年期の「ふれ合い恐怖的心性」と「傷つけ合うことを回避する」傾向の関連について 日本教育心理学会第54回総会発表論文集, 606.
- 2013年11月 「ふれ合い恐怖的心性」の対人関係について:インターネット調査による試み 日本社会心理学会第54回大会発表論文集, 303.
- 2014年7月 「ふれ合い恐怖的心性」の対人関係について(2):インターネット調査との比較 日本社会心理学会第55回大会発表論文集, 320.
- 2015年9月 青年が自分を大人である・ないと考える理由 日本心理学会第79回大会発表論文集, 44.
- 2016.7.27 Is "Emerging Adulthood" available in Japan? The 31th international congress of psychology (Yokohama, Japan). PS27P-06-315.
- 2016.9.18 「ふれ合い恐怖的心性」の対人関係について(3) 高校生調査から 日本社会心理学会第57回大会発表論文集, 236.
- 2017.9.1 Friendship among present-day Japanese adolescents, 18th European conference on developmental psychology (Utrecht, Netherlands). pos302.40
- 2017.9.8 現代青年の友人関係尺度英語版作成の試み(2) 一成人年代との比較— 日本パーソナリティ心理学会 第26回大会ポスター発表論文集, 70.
- 2017.9.21 現代青年の友人関係尺度英語版作成の試み 日本心理学会第81回大会発表論文集, 39.

【学会等講演】

- 1992年3月 現代青年の特質 日本発達心理学会第3回大会 ラウンドテーブルB6 話題提供者(岡田努・平石賢二・大野久・西平直喜)発表論文集 31.
- 1992年9月 現代青年の友人関係と人格的自立 日本心理学会第56回大会ワークショップ 話題提供者(岡田努・高垣忠一郎・白井利明・西坂友秀・菅原健介) 大会発表論文集 36.
- 1993年11月 青年心理学は意味ある研究をしているのか 日本青年心理学会第1回大会シンポジウム シンポジスト(山野晃・長野精二・中野喜夫・古屋健治・岡田努)発表論文集 22.
- 1998年7月 アイデンティティ研究の方法論的検討:それぞれの研究法の有効性と限界 日本教育心理学会第40回総会自主シンポジウム 話題提供者(宮下一博・岡田努・大野久)発表論文集 S32-33.
- 1999年10月 自己の再構成 日本青年心理学会第7回大会テーマセッション 話題提供者(岡田努・下斗米淳・谷冬彦) 発表論文集 8-10.
- 2000年11月 青年期研究の理想と現実 日本心理学会第64回大会ワークショップ 企画・司会・話題提供者(岡田努・谷冬彦・風間文昭・下斗米淳) 発表論文集 S44.
- 2002年8月 思春期における問題行動 共同発表 第21回日本思春期学会シンポジウム2 シンポジスト(近藤直司・市村多加子・岡田努・大川匡子)「現代青年の対人関係」第21回日本思春期学会総会学術集会抄録集 45, 思春期学 21, 16-20.
- 2002年9月 自己心理学の展開(2)-発達心理学における自己研究- 共同発表 話題提供者(小林亮・松田信樹・榎本博明・岡田努・飯野晴海・下斗米淳) 日本心理学会第6

6回大会ワークショップWS57

2002年10月 自己心理学の展開(3) パーソナリティの諸概念をめぐって 日本性格心理学会第11回大会シンポジウム(1) 指定討論者(林洋一, 小塩真司, 中島千加子, 小林亮, 横井優子, 榎本博明, 岡田 努) 発表論文集 18-19.

2002年10月 現代の若者の社会化をめぐって 日本教育心理学会第44回総会 自主シンポジウム20 企画・司会 話題提供者(話題提供者: 岡田努・下斗米淳・上瀬由美子・安達智子) S56-S57.

2002年11月 現代の若者にとっての「自分」と「他人」 日本発達心理学会北陸地区シンポジウム 企画・運営・司会

2003年3月 日本発達心理学会第14回大会 シンポジウム「自己心理学の展開(4) 自己の発達と対人関係」(司会: 林 洋一 話題提供者: 臼井博・下斗米淳・菅原健介・榎本博明 指定討論者: 藤永保・岡田努・高木秀明) 発表論文集 S24.

2003年8月 青年期研究の最前線 日本教育心理学会第45回総会自主シンポジウム8 企画者・司会・話題提供(企画者・司会者 岡田 努 話題提供者 岡田努・榎本博明・谷冬彦) 発表論文集 S34.

2003年9月 「物語る自己について」 日本心理学会第67回大会ワークショップ(WS07) 指定討論者(企画: 榎本博明・やまだようこ, 話題提供: 榎本博明・松本学・谷冬彦・やまだようこ, 指定討論: 小嶋秀夫・岡田 努) 論文集 S34.

2003年9月 自己心理学の展開(5) 児童期・青年期における自己の発達 日本心理学会第67回大会ワークショップ(WS25) 指定討論者(企画: 林洋一・横井優子, 話題提供: 眞榮城和美・梶原佳子・小野寺敦子・越川房子・指定討論: 岡田努・林洋一) 発表論文集 S44.

2003年9月 日本人の情緒性は変容しているか?: 心理学研究データにみる現代日本人 青年の感情反応の特徴 日本心理学会第67回大会ワークショップ(WS94) 話題提供者(企画者 佐藤香 話題提供者 有光興記 佐藤香 岡田 努) 発表論文集 S81.

2004年9月 自己心理学の展開(6) 「対人関係と自己形成」 日本心理学会第68回大会ワークショップ(WS66) 指定討論者(司会: 小林亮, 話題提供: 小野寺敦子・下斗米淳・榎本博明, 指定討論: 藤永保・岡田努) 発表論文集 W33.

2004年10月 青年期研究の応用可能性を考える 日本教育心理学会第46回総会 自主シンポジウム 話題提供者(榎本博明・長峰伸治・岡田 努) 発表論文集 S82-S83.

2004年10月 健康教育における国内外の取り組みから生涯発達を考える 日本教育心理学会第46回総会自主シンポジウム 指定討論者(企画者・司会者: 矢野宏光 話題提供者: 榎本博明・塩崎万里・矢野宏光 指定討論者: 岡田 努) 発表論文集 S28-S29.

2005年3月 自己心理学の展開(7) 「心の発達における自己のさまざまな機能」 日本発達心理学会第16回大会会員企画シンポジウム 指定討論者(企画者: 榎本博明 話題提供者 山口昌澄, 宮崎貴子, 伊田勝憲, 志村ゆず 指定討論者: 榎本博明・岡田努) 発表論文集 148.

2005年3月 青年期研究の最前線—さまよえる青少年の心— 日本発達心理学会第16回大会大会準備委員会企画シンポジウム 話題提供者(企画・司会 谷冬彦, 話題提供者 岡田努・相澤直樹・山口昌澄・谷冬彦, 指定討論者 佐藤浩一) 発表論文集 112.

2005年9月 自己心理学の展開(8) —アイデンティティの発達をめぐって 日本心理学会第69回大会ワークショップ 話題提供者(企画: 日本心理学会自己心理学研究会 司会: 宮崎貴子, 話題提供: 岡田努・松田信樹・榎本博明, 指定討論: 杉村和美・大野久) 発表論文集 W23.

2006年11月 青少年のキャリア意識形成と自己意識の発達促進に関する基礎研究 日本心理学会第70回大会ワークショップ 企画・司会・話題提供者(話題提供 榎本博明・下村英雄・山浦一保・岡田努) 発表論文集 W29.

2007年9月 青少年のキャリア意識形成と自己意識の発達促進に関する基礎研究(2) 実証データに基づく報告 日本心理学会第71回大会ワークショップ 企画・司会・話題提供者(話題提供 榎本博明・岡田努・下村英雄・山浦一保) 発表論文集 W27.

2007年9月 自己心理学の現状と課題 日本教育心理学会第49回総会自主シンポジウム 話題提供者(企画 榎本博明 司会: 梶原 佳子 話題提供: 榎本博明・岡田努・下斗米淳 指定討論: 野口裕之) 発表論文集 S28-29.

2008年9月 自己心理学の方法と現状 日本心理学会第72回大会ワークショップ 企画者(企画者 榎本博明・岡田努・下斗米淳・梶原佳子 司会者 並川努 話題提供者 古澤照幸・榎本博明・梶原佳子 指定討論者 サトウタツヤ) 発表論文集 WS(6).

2008年10月 現代若者考: 実践と実証のコラボレーション 日本教育心理学会第50回総会自主シンポジウムC4 企画: 岡田努 話題提供者 萩原健次郎・伊藤美奈子・岡田努 指定討論者 下斗米淳 発表論文集 S62-S63.

2010年8月 日本教育心理学会第52回総会 研究委員会企画シンポジウム3「子どもや青年

に寄り添うことと指導すること—実践と理論からの学び—」 企画・司会：下斗米 淳
・話題提供：伊藤美奈子・萩原健次郎・弓削 洋子，指定討論：岡田 努 発表論文集
90-91. 教育心理学年報第50集, 39-43に抄録

2010年9月 現代青年の友人関係と自己愛:対人恐怖を介して見えてくる混沌 日本心理学会第74回大会 9.20-22(大阪大学) ワークショップ(WS013)「自己愛研究の最前線(3):対人関係における自己愛の諸相」企画者：小塩真司・川崎直樹，司会：清水健司，話題提供者：中山留美子・寺島瞳・阿部晋吾・岡田努 指定討論：小塩真司 発表論文集WS(7).

2011年9月「大学生の友人関係とキャリア発達」日本心理学会第75回大会 9.15-17(日本大学)ワークショップ(WS001)企画者・司会者：岡田努，話題提供者：岡田努・榎本博明・下村英雄・山浦一保 発表論文集WS(1).

2011年9月 自己愛研究の最前線(4)：自己愛的パーソナリティと日常行動 日本心理学会第75回大会 9.15-17(日本大学)ワークショップ(WS086)
企画者：小塩真司・川崎直樹，司会者：清水健司，話題提供者：中山留美子・寺島瞳・阿部晋吾・岡田努・小塩真司 発表論文集WS(43).

2012年9月 日本心理学会第76回大会ワークショップ(WS034) 現代青年の成熟とは何か 企画者・司会者：岡田努，話題提供者：岡田努(金沢大学)・萩原建次郎(駒澤大学)・溝上慎一(京都大学) 指定討論者：下斗米淳(専修大学) 大会発表論文集WS(17).

2012年9月 日本心理学会第76回大会ワークショップ(WS132) 自己愛研究の最前線(5) —これからの「自己愛」の話—
企画者：川崎 直樹(北翔大学)・小塩真司(早稲田大学) 司会者：清水健司(信州大学)
話題提供者：阿部 晋吾(梅花女子大学)・岡田努(金沢大学)・寺島瞳(筑波大学)・中西誠(関西大学)・中山留美子(三重大学)・市村美帆(東洋大学)・清水健司(信州大学)・小塩真司(早稲田大学) 発表論文集WS(66).

2013年9月 日本心理学会第77回大会 公募シンポジウム 自己愛と無意識過程—精神分析学とパーソナリティ・社会心理学の接点—企画代表者：小塩真司(早稲田大学)。企画者：川崎直樹(北翔大学)，話題提供者：川崎直樹・森尾博昭(関西大学)・岡田努(金沢大学)・清水健司(信州大学)，指定討論者：富樫公一(甲南大学・栄橋心理相談室)・小塩真司，司会者：小塩真司(「質問紙調査における自己愛の無意識過程」)

2014年3月 日本発達心理学会第25回大会 会員企画自主シンポジウム SS1-2 思春期・青年期の友人グループのメカニズム—青年心理学の新展開(3)—企画・司会・話題提供者：高坂 康雅(和光大学) 話題提供者：高坂 康雅(和光大学)・須藤春佳(神戸女学院大学)・山崎茜(広島大学大学院) 指定討論者：岡田努(金沢大学)

2014年10月 日本パーソナリティ心理学会第23回大会 経常的交流委員会企画シンポジウムA 現代青年における友人・異性との関係はどのようなものか：行動の背後にある動機に着目して企画者：日本パーソナリティ心理学会経常的交流委員会，司会者 畑野快(日本学術振興会/京都大学)・中谷陽輔(同志社大学)，話題提供者：石本雄真(立命館大学)・本田周二(島根大学)・谷口純一(帝塚山大学)，指定討論者 岡田努

2014年11月 日本教育心理学会第56回総会 自主企画シンポジウムJH02 青年期の食—写真法から見える日常—企画・話題提供：外山紀子(早稲田大学)・長谷川智子(大正大学)，司会：中島伸子(新潟大学)，話題提供：佐藤康一郎(専修大学)，指定討論：岡田努(金沢大学)，今田純雄(広島修道大学) 発表論文集 138-139.

2015年8月 日本教育心理学会第57回総会 自主企画シンポジウム JA04 Rosenbergの自尊感情尺度 企画・司会：小塩真司(早稲田大学)，話題提供：茂垣まどか(立教大学)，岡田涼(香川大学)，並河努(新潟大学)，指定討論：中間玲子(兵庫教育大学)，岡田努(金沢大学) 発表論文集28-29.

2016年4月29日 日本発達心理学会第27回大会 自主シンポジウム SS2-1「親密な関係から抜け出せない人々：青年期の恋愛関係を中心に」
企画者：佐藤有耕(筑波大学) 話題提供者：赤澤淳子(福山大学)・古村健太郎(筑波大学)・高坂康雅(和光大学) 指定討論者：岡田努(金沢大学) 発表論文集45-46.

2016年10月9日 現代青年は本当におとなしくなったのか 日本教育心理学会第58回総会 自主企画シンポジウムJF02 話題提供者 岡田努(金沢大学・企画・司会)，原田克巳(金沢大学)・高坂康雅(和光大学)・萩原建次郎(駒澤大学) 総会発表論文集92-93

2016年11月26日 現代青年像と青年心理学 日本青年心理学会第24回大会ラウンドテーブル 青年期研究2.0 —問題意識と研究デザインのブレーク・スルーとは— 話題提供者：岡田努(金沢大学)・河野莊子(名古屋大学)・平石賢二(名古屋大学) 司会：若松養亮(滋賀大学) 論文集18-19.

2017年3月25日 ともだち再考:定義、発達、意味に着目して 企画・話題提供: 保坂裕子 (兵庫県立大学) 企画・司会・話題提供: 家島明彦 (大阪大学) 話題提供: 本田周二 (大妻女子大学) 指定討論: 岡田 努 (金沢大学) 日本発達心理学会第28回大会 ラウンドテーブルRT2-5 論文集101

2017年3月27日 「アイデンティティ」の魅力を再考する(その3): 幼児期の自己の発達とアイデンティティ企画: 谷冬彦 (神戸大学大学院) ・宮下一博 (千葉大学大学院) ・大倉得史 (京都大学大学院) 司会: 宮下一博 話題提供: 谷冬彦・稲垣実果 (京都聖母女学院短期大学) ・中谷陽輔 (同志社大学), 指定討論: 岡田 努 (金沢大学) ・上地雄一郎 (岡山大学大学院) 日本発達心理学会第28回大会自主シンポジウムSS8-2 論文集88-89

2017. 11. 26 現代青年の日常の活動に対する評価: 研究委員会共同調査の結果に基づく検討
企画: 日本青年心理学会研究委員会, 司会: 高坂康雅 (和光大学), 話題提供: 山口昌澄 (高田短期大学), 五十嵐敦 (福島大学), 指定討論: 峰尾菜生子 (中央大学大学院), 岡田努 (金沢大学)
日本青年心理学会第25回大会研究委員会企画シンポジウム
岐阜聖徳学園大学

研究補助金取得状況

- ・1994 青年期における「ふれあい恐怖」の精神病理と心理的構造について (平成6年度 科学研究費補助金 奨励研究(A) 課題番号06851018) 単独
- ・1997-1998 現代青年における対人関係希薄化と人格障害傾向の関連について (平成9, 10年度 科学研究費補助金 奨励研究(A) 課題番号09710082) 単独
- ・1999 現代青年の対人希薄化と自己の発達に関する研究 1999年度立教大学研究奨励助成金 単独
- ・2001-2004 青年期危機が人格的発達に及ぼす効果に関する研究 (平成13-16年度 科学研究費補助金 基盤C-2 一般 課題番号 13610123) 単独
- ・2006-2007 青少年のキャリア意識形成と自己意識の発達促進に関する基礎研究 第37回 (平成18年度) 三菱財団社会福祉事業・研究助成 (榎本博明・山浦一保・下村英雄と共同) 研究代表者
- ・2007 現代青年の友人関係・自己のありかたが自己の発達と適応に及ぼす影響に関する研究 金沢大学平成19年度学長戦略経費 (重点研究経費) 一般推進研究 研究代表者
- ・2009 科学研究費補助金 研究成果公開促進費 (学術図書) 課題番号215160 「青年期の友人関係と自己」
- ・2008-2012 現代青年の友人関係・自己のありかたと社会適応に関する研究 (平成20-24年度 科学研究費補助金 基盤(C) 課題番号20530589 研究代表者 (課題番号24530811へ継続のため, 2011年度までの支給)
- ・2012-2016 現代青年の友人関係における心理的脆弱性と社会適応の関連に関する研究 (平成24-28年度 科学研究費補助金 基盤(C) 一般 課題番号24530811) 研究代表者
- ・2017-2021 現代青年の社会的脆弱性の構造の解明 (平成29-33年度 科学研究費補助金 基盤(C) 一般 課題番号 17K04345) 研究代表者
- ・2015. 4. 1-2015. 9. 30 グローバル時代における若年性代の価値に関する人間科学 先魁プロジェクト【予備研究】(FS) 異分野融合型 (研究代表者: 轟亮)
- ・2013-2018 グローバル時代における若年世代の価値と規範に関する人間科学 先魁プロジェクト 【本格研究】(FR) 異分野融合型 (研究代表者: 轟亮)
- ・2016-2018 計量社会学的方法による若年層の価値と規範に関する国際比較研究 (基盤研究(B) 一般 課題番号 16H03689) 研究分担者 (研究代表者: 轟亮)

学会及び社会における活動等

○所属学会 日本心理学会 日本教育心理学会 日本社会心理学会 日本発達心理学会 日本パーソ

ナリティ心理学会 日本青年心理学会 日本心理臨床学会

○学会での活動・委員・役職等

1988年7月31日～8月2日 日本心理臨床学会第7回大会準備委員（東京都立大学）
1990年6月1日～3日 日本心理学会第54回大会準備委員（東京都立大学）
1996年5月～1998年3月 日本発達心理学会「発達心理学研究」編集委員
1999年10月10～11日 日本青年心理学会第7回大会準備委員
2000年9月～2001年10月 日本性格心理学会「性格心理学研究」編集委員
2001年10月～2005年11月 日本性格心理学会/日本パーソナリティ心理学会「性格心理学研究」「パーソナリティ研究」常任編集委員
2002年1月8日～2003年12月31日 日本発達心理学会企画委員
2002年11月2日 日本発達心理学会北陸地区シンポジウム 企画・運営・司会 共催：金沢大学 文学部・教育学部心理学系研究室 現代の若者にとっての「自分」と「他人」－自己と対人関係の発達心理学－ 「教育との関係及び総括的な観点から」（金子劭榮）、「自己の発達心理学」（榎本博明）、「対人関係の社会心理学」（下斗米淳）
2006年1月～2007年12月 日本発達心理学会「発達心理学研究」編集委員
2008年1月～2010年12月 日本教育心理学会「教育心理学研究」編集委員
2008年11月15～2010年10月9日 日本パーソナリティ心理学会「パーソナリティ研究」編集委員
2007年7月～2015年 日本心理学会 代議員（地域別 中部）
2009年11月～現在 日本パーソナリティ心理学会 監事
2010年8月～2012年11月 日本教育心理学会 理事
2010年10月10～2014年10月 日本パーソナリティ心理学会「パーソナリティ研究」常任編集委員
2014年10月～2016年9月 日本パーソナリティ心理学会「パーソナリティ研究」編集副委員長

○公的機関等の委員・貢献等

1994年 新潟市教育委員会 「子どもの遊びに関する実態調査」調査設計指導
1999年5月～2000年3月 総務庁青少年対策本部 企画分析委員（「低年齢少年の価値観等に関する調査」）
2001年6月～2013年3月31日 石川県精神保健福祉協会 理事
2001年8月27日～2001年11月 男女共同参画状況調査に係る実行委員会委員（財）いしかわ女性基金事務局・石川県女性青少年課男女共同参画推進室
2003年8月 放送大学 2004年度放送用教材制作協力（人格心理学 第5回「親子関係とパーソナリティの発達」、第6回「友人関係とパーソナリティの発達」講師）
2004年12月～2007年3月 日本学術振興会 人文・社会科学振興プロジェクト研究事業「グローバル化時代における市民性の教育」研究協力者
2005年4月～2007年3月 石川県 豊かな心をはぐくむ教育推進県民会議「子どもの心に関する調査特別委員会」委員
2013年12月1日～2015年11月30日 日本学術振興会科学研究費委員会専門委員（審査第一部会海外学術調査社会科学系小委員会）

○講演等

2000年3月 総務庁青少年対策本部 青少年問題調査研究会 講師
2001年2月10日 平成12年度 新潟大学教育人間科学部 フレンドシップ事業 公開シンポジウム 青少年の逸脱行動にかかわる要因について
2002年8月8日 石川県私立幼稚園協会 研修委員会「幼稚園の基礎講座」講師 「現代の若者は本当に未熟なのか 現代青年の対人関係と自己概念の特質」
2004年11月23日 北陸6大学連携まちなかセミナー「北陸発の教育：まったくいまどきのコドモは・・・－当世「保育」「子ども」「青年」事情－」
司会・進行：氏家靖浩（福井大学教育学部） 講師：吉見昌弘（富山大学教育学部），市田路子（富山医科薬科大学医学部），岡田努（金沢大学文学部）
2005年2月18日 鯖江市地域子ども教室講演会「現代青少年の対人関係と意識について」
2005年2月26日 平成16年度石川県精神保健福祉研究会講師 「青少年による重大事件発生の現状と心理」 司会：小山善子，シンポジスト：高橋良介・田中義一・浦田早知・岡田努・棟居俊夫
2005年12月7日 富山工業高等専門学校講演会 現代の青少年の心理的特徴に即した学生への対応のあり方について：現代の若者の対人関係の心理
2008年2月3日 「現代青年の対人関係」全国引きこもりKHJ親の会石川県支部講演会

2009年12月13日 第1回合同CSD研修会講演会「現代若者気質」(福岡大学) 平成21年度「大学教育充実のための戦略的・大学連携支援プログラム」看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州沖縄構想
2010年2月14日 平成21年度石川県精神保健福祉協会研究会シンポジウム「現代の若者を取りまく心の諸問題」より「現代の青年の対人関係」
2010年12月10日 金沢大学創基150年記念「講演会・シンポジウム」シリーズ第21回 人文学類シンポジウム第3回パーソナリティ心理学からのアプローチ:現代の若者:傷つけられることを恐れる心 司会・松川順子 話題提供 松田崇志・國見充展・松本圭・上野糧正・岡田努・小島治幸・谷内通

2013年8月3日 日本心理学会 2013年度 高校生のための心理学講座 中部地区II 人格・発達心理学「若者の心と対人関係 友だち, 恋愛」金沢大学サテライトプラザ
2013年8月6日 平成25年度 金沢大学教員免許状更新講習「現代社会における心・宗教・民族の問題」(若者の心の問題について)
2013年10月19日 日本女子大学心理学科の会 講演会「現代青年は傷つきやすいのか:ふれ合い恐怖・ランチメイト症候群との関係」
2014年8月2日 日本心理学会 2014年度 高校生のための心理学講座 中部地区II 人格・発達心理学「若者の心と対人関係 友だち, 恋愛」金沢大学サテライトプラザ
2014年9月5日 金沢家庭裁判所研修会講師「現代の若者の対人行動」
2015年8月1日 日本心理学会 2015年度 高校生のための心理学講座 中部地区II 人格・発達心理学「若者の心と対人関係」ITビジネスプラザ武蔵
2016年7月31日 日本心理学会 2016年度 高校生のための心理学講座 中部地区II 人格・発達心理学「若者の心と対人関係」金沢大学サテライトプラザ
2017年7月29日 日本心理学会 2017年度 高校生のための心理学講座 中部地区II 人格・発達心理学「若者の心と対人関係」金沢大学サテライトプラザ

研究成果の掲載・放送

2017.4.20 編集部インタビュー 「なぜ友達は必要なのか」電通育英会 IKUEI NEWS78 7-8

東進ドットコム「高校生の悩み解決サイト 悩み相談Q&A」クラスのみんが騒いでいるなか、自分だけどこか冷めた目で見えてしまい、輪の中に入れてません。自分もまざれる方法を知りたいです。(高2女子)

http://www.toshin.com/question_stop/questions/110

以上

その他

1989年3月 Rorschach Test Scoring Tool 心理検査採点ソフトウェアの開発(株)マイ

ン
2003年3月 日本発達心理学会北陸地区シンポジウム記録集「現代の若者にとっての自分と他人」主催:日本発達心理学会企画委員会・金沢大学文学部・教育学部心理学系研究室(編集)

以上